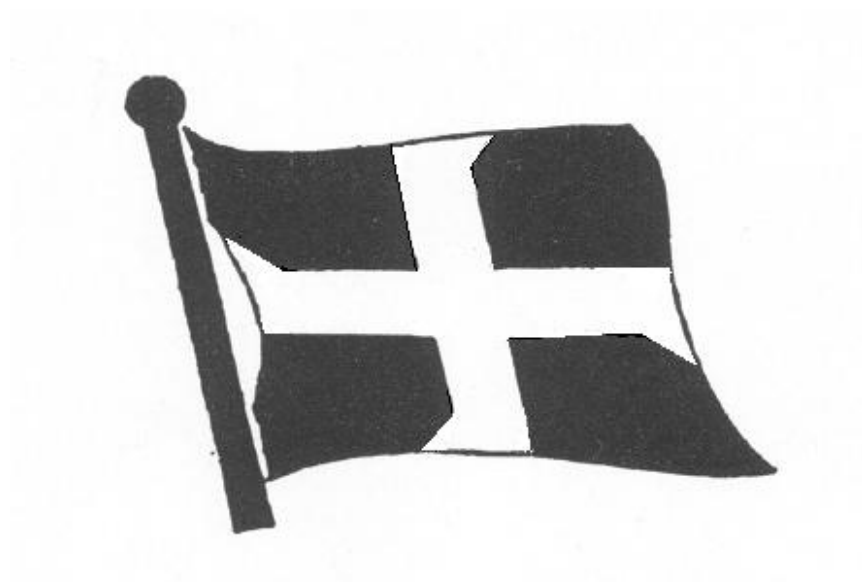


蒼穹NEWS No.6

東大戦総括号

平成 16 年 10 月 13 日発行



～～～ 目 次 ～～～

1. 主 将 ・ 監 督 挨 拶
2. 東 大 戦 の 結 果
3. 東 大 戦 詳 細
4. 新 主 将 挨 拶
5. 関 西 学 生 女 子 駅 伝 の 結 果
6. 新 幹 部 紹 介

東大戦結果

第77回東京大学・京都大学対校陸上競技大会

総合優勝 京都大学 (通算50勝27敗)

総合得点

京都大学 195-155 東京大学

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	京大の得点	東大の得点
100m (+0.0m)	米田武史 10.91	式場健太 11.13	松井延行 11.16	藤井章輔 11.23	北垣卓 11.39	相川啓佑 11.56	9	12
200m (-0.6m)	米田武史 22.12	水谷太郎 22.27	堀江匠 22.34	藤井章輔 22.40	式場健太 22.42	瀧山健 23.62	12	9
400m	水谷太郎 49.08	藤崎淳 50.13	村地優樹 50.34	沖田朋憲 50.84	伊勢田明弘 51.31	田中佑貴 52.87	15	6
800m	岡本英也 1.57.75	前川真彦 1.59.16	村井昂志 1.59.43	庄司一郎 2.00.32	磯島弘 2.00.52	割沢高行 2.01.29	13	8
1500m	岡本英也 4.01.47	松本翔 4.01.86	新井邦生 4.02.74	西村好康 4.04.69	庄司一郎 4.07.97	三好達也 4.12.29	10	11
5000m	松本翔 14.43.21	西村好康 15.19.16	村田拓哉 15.24.03	新井邦生 15.28.59	渡辺敬宏 15.34.29	宇部達 16.01.13	8	13
110mH (+0.0m)	田中啓 15.48	萩澤佑樹 15.63	垣畑陽 15.82	尾崎禎亮 15.87	梅沢啓 16.19	林盛 16.85	12	9
400mH	水谷太郎 55.92	桑原昇 56.44	前川真彦 56.54	伊勢田明弘 57.21	坂田祐輔 60.67	磯部洋輔 60.82	15	6
4×100mR	東京大学 [瀧山-式場-相川-米田] 42.47						0	6
4×400mR	京都大学 [藤崎-堀江-水谷-村地] 3.18.93			東京大学 [伊勢田-村井-沖田-式場] 3.24.68			6	2
トラック合計						100	82	
走高跳	宮正彦 1.90	田中啓 1.90	田端康平 1.80	横矢龍之介 1.80	藤田靖浩 1.80	松久佳弘 1.75	8	13
棒高跳	持永新 3.70	垣畑陽 3.60	浜田良太 3.60	平野聖 3.50	佐野太郎 3.30	関原貴之 2.90	12	9
走幅跳	藤田靖浩 6.71	杉本昌大 6.70	吉岡和夫 6.67	竹内昌男 6.60	高橋孝治 6.53	萩澤佑樹 6.25	8	13
三段跳	藤田靖浩 14.26	福山大典 14.17	横矢龍之介 13.78	倉員智瑛 13.63	佐野太郎 12.79	北島明文 12.53	10	11
砲丸投	森川陽介 12.35	竹村顕大朗 12.29	萩澤佑樹 11.21	合田隆彦 10.87	小林宗隆 10.73	庄司宇 8.69	15	6
円盤投	合田隆彦 35.00	垣畑陽 32.69	森川陽介 32.25	松田俊 31.35	庄司宇 26.57	小林宗隆 26.01	12	9
ハム-投	木村克也 36.56	田中聡一 36.49	松田俊 33.02	合田隆彦 33.02	池田大行 25.01	庄司宇 18.01	15	6
やり投	山本貴之 53.46	野々垣春戸陽 49.39	松田俊 48.89	池田大行 47.46	関原孝之 44.99	田中啓 42.32	15	6
フィールド合計						95	73	
総合得点						195	155	

第3回東京大学・京都大学対校女子陸上競技大会

総合優勝 東京大学

(通算 京都大学の0勝3敗)

総合得点

京都大学 28-35 東京大学

	1位	2位	3位	4位		京大の得点	東大の得点
100m (+0.0m)	塩入敦子 13.03	小原明恵 13.19	海野益代 13.81	滝上伸子 14.41		3	7
400m	塩入敦子 58.82	林奈央 70.33				3	4
800m	目黒亜由子 2.16.60	塩入敦子 2.18.83	岩瀬祥子 2.39.18	川口紗弥香 2.39.55		3	7
3000m	山下里絵 10.56.98	向田恵 11.05.05	中村奈都子 11.19.90	清水理沙 11.52.45		6	4
4×100mR	東京大学 [小原・塩入・津村・目黒] 51.92			京都大学 [滝上・海野・森村・河合] 54.60		2	4
トラック合計						17	26
走幅跳	海野益代 5.00	小原明恵 4.58	森村あかね 4.36	本間涼子 4.32		6	4
砲丸投	本間涼子 6.92	森村あかね 6.62	河合春菜 6.22	津村瑛子 5.57		5	5
フィールド合計						11	9
総合得点						28	35

主将挨拶

先日、京都にて行われた東大戦は、5種目でスコルクを果たすなど多くの種目で勝ち越し、終わってみれば195対155と東大に40点もの大差をつけて勝利することができました。女子の部を合わせた総合得点でも東大を上回り、各選手が油断することなく全力で戦ったことが、最高の結果につながりました。

これで今年のトラックシーズンにおいては関西インカレ・七大会・東大戦という重要な三つの対校戦で部の目標を達成できたこととなります。これも部員たち一人一人の努力でシーズンを通じてチームとしての戦力を成長・安定させることができたおかげです。毎試合、ランキングを大きく覆す選手が誕生し、部全体が活性化していたように思います。

今後の展望も、下回生がチームの主力として育ってきていることを見ますと心強い限りです。私はこの東大戦をもちまして一年間務めた主将の任を降りますが、100mが専門の松井（3・跳躍）新主将のもとで京大陸上部は驕ることなく精進し、さらに上の目標にむかって勢いを増していってくれることでしょう。

最後に、この一年間多くのご支援をいただきました蒼穹会の皆様に感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

京都大学陸上競技部主将 磯島 弘

監督挨拶

男子は投擲3種目と400m、400mHの5種目でスコルク勝ちし、終わってみれば、七大会に引き続いての大勝を収めることができました。女子も東大に今までにない程迫ることができました。試合を見ていると下回生の活躍が多く、これからもこの強さを維持していけると思います。

蒼穹会の皆様には、これからも陸上競技部を愛し、応援に駆けつけていただきたいと思っています。

京都大学陸上競技部監督 八木 美典

東大戦詳細

100m (+0.0)

- 3位 松井 延行 (3) 11.16
4位 藤井 章輔 (4) 11.23
5位 北垣 卓 (4) 11.39

男子 100m は小雨のふる中で行われた。松井は今大会前ケガのため十分な練習が積めなかった影響があり、また東大の米田、式場、共に速く、式場と百分の三秒差で惜しくも三位だった。

藤井(章)はレース前からケガが心配されておりスタートでは若干出遅れたものの、中盤以降に大きく伸ばして四着に入った。

北垣は七大戦で好成績を残したものの、その後院試などで十分な練習ができず、五位に終わった。(高瀬)

女子100m (+0.0)

- 3位 海野 益代 (2) 13.81
4位 滝上 伸子 (4) 14.41

最後の対校戦となる滝上と、女子主将としての初の対校戦となる海野。

海野、滝上ともスタートでやや出遅れる。東大の女子スプリントチームは強い上にスタートで出遅れると、冷静さを失い力むことがよく見られるが、この二人は決して焦ることなく落ち着いてその後は普段どおりの加速、中間疾走を見せた。

4年間大学で陸上をやってきた滝上の貫禄と、今後の女子短距離を支える海野の力が垣間見えたよいレースだったといえるだろう。(中尾)

1500m

- 1位 岡本 英也 (2) 4.01.47
4位 西村 好康 (4) 4.04.69
6位 三好 達也 (3) 4.12.29

6人が集団でスタートする。中盤までは集団での駆け引きが続く。ラスト一周になる前に岡本がスパートをかけ先頭に立ち、そのまま東大勢の追い上げをかわして逃げ切り、見事優勝。

一方、ラスト 300m で西村もスパートをかけ、4位に食い込んだ。

三好はラスト一周で遅れ始め、先頭争いから外れてしまった。今後の記録を期待したい。(田中ゆ)

走高跳

- 3位 田端 康平 (1) 1m80
4位 横矢龍之介 (3) 1m80
6位 松久 佳弘 (2) 1m75

両校の持ち記録から見て、厳しい試合になりそうな走高跳。1m80 の練習では天候のせいもあっ

てか両校共に不調。バーは 1m60 まで下げられスタート。

1m75 までは松久が二度失敗し危なかったが、全員クリア。1m80 は一度目で田端が、二度目で横矢がクリアしたが、松久はクリアできず。

東大は三人ともクリアし、五人で 1m85 の試技となったが田端、横矢共にクリアできなかった。

やはり、東大との力の差はこの時点では如何ともしがたく、優勝記録は 1m90 だった。(田端)

ハンマー投

- 1位 木村 克也 (3) 36m56
2位 田中 聡一 (2) 36m49
3位 松田 俊 (3) 33m02

木村[33.36-34.61-35.91-34.35-36.56- x]

田中[25.52-33.35- x -35.62-36.49-35.91]

松田[27.04-29.91-29.68-33.02-31.22-32.47]

雨により少々滑るサークルでの試合となった。持ち記録で頭一つ抜け出ている木村、田中の両名は滑るサークルに苦しみながらも、順調に記録を伸ばし 1、2 位は確定。

注目は 3 位争いにしぼられた。京大の松田と東大の合田が抜きつ抜かれつの好勝負を披露する。4 投目で同記録に並ぶも、6 投目の松田の一投セカンド記録で勝ち、見事スコンクを達成した。(野々垣)

400m

- 1位 水谷 太郎 (2) 49.08
2位 藤崎 淳 (1) 50.13
3位 村地 優樹 (4) 50.34

出場選手は村地、水谷、藤崎。レースは序盤からアウトレーンの水谷がレースを引っ張る形になった。水谷に引きつられるように村地、藤崎の二人も 200m を過ぎたあたりからスピードに乗り、東大勢を抑えて最終コーナーを回る。

このレースの最大の見所はラスト 100 に待っていた。水谷の優勝は確定的になったが、二、三位の村地、藤崎の争いがおもしろい。残り 70m 付近で藤崎が村地の前に立ち、そのままゴール。

スタンドはスコンクも達成とともに、若い力の台頭に沸いた。(涌井)

女子400m

- 2位 林 奈央 (1) 70.33
横田 裕子 (1) DNS

女子 400m には陸上競技の試合が初めての林が出場する。横田は膝の故障から出場を見送った。

東大塩入との一騎打ちとなるが、スタートから林は自分のペースを守りバックストレートでもしっかり走れていた。

しかし、塩入との差は広がる。最後の直線はかなり苦しそうであったが、70 " 33 でフィニッシュ

ユした。初めての 400m には立派なタイムであった。今後更なる飛躍が期待される。(真鍋)

走幅跳

- 2位 杉本 昌大 (3) 6m70 (+0.2)
5位 高橋 孝治 (2) 6m53 (+0.0)
6位 萩澤 佑樹 (1) 6m25 (+0.1)

杉本[6.70-5.24- × -6.57- × -6.51]

高橋[6.53-6.11-6.13-6.37-6.28-6.38]

萩澤[× -6.24- × -5.93-6.25-6.10]

持ち記録では杉本を上回る二人を擁する東大の優勢は否めない。が、この日は全体的に跳躍種目の記録が低調で、予想を覆す可能性がある中で東大の藤田が 6m71、吉岡も 6m67 に終わった。結果、ベストとはいえないが 6m70 の跳躍を見せた杉本が 1cm 及ばず二位になったものの吉岡を破った。

高橋はファールが一本もなく、安定した跳躍を見せたが、ベストには届かず 5 位。

萩澤は 110mH との同時進行で安定感を欠き、特にハードルのレース後は冷静さを失った感があったが、その中で健闘し 5 回目に 6m25 を跳んだ。(中尾)

女子走幅跳

- 1位 海野 益代 (2) 5m00 (+0.0)
3位 森村あかね (2) 4m36 (+0.0)

海野[5.00-4.93-4.94-4.14- × -4.55]

森村[4.36-4.26- × -4.31-4.30- ×]

最近思うように練習のできていなかった海野だが走りのキレは悪くない。足も合わせて 1 本目に 5m を跳び、まずまずの跳躍を見せる。その後も 5m 手前の記録を連発するのだが 1 本目の記録は抜けない。それでも最終的には 1 位の記録でこの大会女子初の優勝を果たした。

同じく最近不調だった森村は、足合わせは完璧で少しのファールはあったものの無難にまとめる。助走でややスピードに欠けまともりがなかったのが響いたのか最終的には 4 m 3 6 でスコクは逃す。

やはり練習不足が響いたのか二人とも課題の残る試技だったといえるかもしれない。(滝上)

110mH (+0.0)

- 2位 萩澤 佑樹 (1) 15.63
3位 垣畑 陽 (4) 15.82
4位 尾崎 禎亮 (4) 15.87

ピストルの音と共に一斉にスタート。スタートは横一列。中盤から京大三選手と東大の田中が頭一つ分前に出るが、ラスト二台目あたりで東大の田中がややリード。その後一回生の萩澤が続く。

萩澤、垣畑、尾崎がほぼ同時にラスト一台を越える。ラストで三人が東大の田中を懸命に追い上

げるが、惜しくも僅かに届かなかった。しかし結果としては、2、3、4 位を占めかなり健闘した。(横田)

円盤投

- 2位 垣畑 陽 (4) 32m69
3位 森川 陽介 (2) 32m25
4位 松田 俊 (3) 31m35

垣畑[31.66-30.18- × -32.69- -]

森川[27.19-30.74-29.87-32.25-30.86-30.37]

松田[24.71- × -30.38- × -31.35- ×]

垣畑は順調に、松田と森川は安心できない 1 投目で試合は始まった。森川は 2 投目に 30m74 というまずまずの記録を残しホッとした様子。松田は 2 投目ファールで少しあせっていたものの、3 投目に 30m38 を投げ京大勢に勢いをつけた。

東大の合田が頭一つ抜けてはいたが、4 投目以降、垣畑が 32m69、松田が 31m35 で共に自己ベストを、森川が好記録をたたき出し、見事に 2、3、4 位を占めた。この種目で東大に 3 点の差をつけた。(山本た)

4 × 100mR

[松井延行-藤井章輔-堀江匠-北垣卓]

DSQ

松井は快調にスタートを決め、東大の一走瀧山を引き離す。ここで形勢有利になり、七大の時のように圧勝となるかに思われたとき、藤井とのバトンパスが空振り、痛恨のオーバーゾーン。藤井、そしてその後を受けた堀江も必死に東大に食い下がり、アンカー北垣にバトンをつなぎゴールはしたものの、R1 で失格、対校得点は 0 という最悪の結果に終わった。(中尾)

800m

- 1位 岡本 英也 (2) 1.57.75
2位 前川 真彦 (2) 1.59.16
5位 磯島 弘 (4) 2.00.52

スタートから 300m までは前川が先頭に立ち、磯島、岡本はやや後方につけていた。

300m 過ぎから岡本が一気に追い上げ、400m で先頭におどり出る。前川も岡本の後ろにつけようとしていたが、岡本は差を広げていき、600m では 2 位以下に 10m 程の差をつけた。岡本はそのままゴールし、1500m と併せて、二冠に輝いた。

前川は 600m 手前で 3 位に落ちていたが、ラスト 100m で猛追を見せて 2 位に食い込んだ。

磯島は 4 位争いをしてはいたが、ラストで抜かれてしまい、5 位となった。(山下て)



1500m と併せ二冠を達成した岡本(先頭)
2 位の前川・5 位の磯島(左から 3 番目・4 番目)

女子800m

- 3 位 岩瀬 祥子 (4) 2.39.18
4 位 川口紗弥香 (1) 2.39.55

ピストルの音と共に、東大の目黒が飛び出す。その後東大の塩入、京大の岩瀬、川口が続く。400m の通過は川口が岩瀬に先行して 75 秒。ラスト 200m で岩瀬が前に出る。川口がその後ろに食らい付き、二人で競り合いながらほぼ同時にゴール。

一回生、川口は二度目の 800m ながらベスト更新。着実に力を伸ばしてきており、今後が期待できる内容であった。

岩瀬は悔しいレースとなってしまったが、この想いを関西女子駅伝で晴らしてくれることだろう。(横田)

200m (-0.6)

- 2 位 水谷 太郎 (2) 22.27
3 位 堀江 匠 (3) 22.34
4 位 藤井 章輔 (4) 22.40

200m は藤井章輔、堀江、水谷が出場。前半堀江がスムーズに加速しよい位置でコーナーを通過。

120m あたりから水谷が猛追し、米田との差を詰めるが惜しくも 2 位でゴール。

堀江は後半も粘り、大学ベストで見事 3 位に入った。

藤井章輔はハムストリングのケガに泣かされ普段の切れのある走りができず 4 位でのゴールとなった。(松井)

砲丸投

- 1 位 森川 陽介 (2) 12m35
2 位 竹村顕大朗 (4) 12m29
3 位 萩澤 佑樹 (1) 11m21

森川[11.97-12.35-11.85-12.09- × -11.94]

竹村[10.81-11.83- × -12.21-12.29- ×]

萩澤[9.90-10.50-10.92-11.21-11.03-10.28]

森川は、序盤は調子がよく、早速 2 投目で 12m を大きく超え他に地力の差を見せ付けたが、後半は動きがたくなり 2 投目の記録を更新することはできなかった。

竹村は、1 投目に 11m も超えられずに調子が心配されたが、順調に記録を伸ばし 5 投目に今期ベストとなる 12m29 を投げたが、森川の記録に惜しくも及ばず、2 位となった。

萩澤は、高校時代のチームメイトであった東大の小林と競い合いながら順調に記録を伸ばし、4 投目に 11m を大きく超え 3 位を獲得し、投擲 2 つ目のスコルクを達成した。(田中そ)



大活躍した投擲勢 (写真は砲丸投げの竹村)

女子砲丸投

- 2 位 森村あかね (2) 6m62
3 位 河合 春菜 (1) 6m22

森村[6.36-6.36-6.55-6.62-6.28-6.53]

河合[× - × -5.29-5.60-5.58-6.22]

森村は、3 投目で感覚をつかみ、4 投目でさらに記録をのばし、2 位にはいった。

河合は 1、2 投目で記録を残すことができなかった。その後も、なかなか記録を残すことができなかったが、6 投目に 6 m を超え、3 位に食い込んだ。(田中そ)

棒高跳

- 2位 垣畑 陽 (4) 3m60
3位 浜田 良太 (4) 3m60
4位 平野 聖 (4) 3m50

練習が積めていない浜田は、慎重に 3m00 から始め、3m00、3m20を一発でクリア。

垣畑、平野は 3m40 から開始。3m40 は浜田が二度失敗し、危ぶまれたが、他の二人は一発目でクリアしここまでは三人ともクリアした。

以降、平野は 3m50 一度で超えたものの、3m70 は超えられず 3m50。

浜田は失敗を重ねながらも 3m60 まで記録を伸ばした。

垣畑は東大の持永と優勝争いの中で 3m80 は越えられなかったものの、3m60 で二等。(中尾)

400mH

- 1位 水谷 太郎 (2) 55.92
2位 桑原 昇 (2) 56.44
3位 前川 真彦 (2) 56.54

スタートから7レーンの桑原が好調。この日一本目ということもあったが、今季の彼の調子のよさをうかがわせる。水谷はこのレースの僅か 30 分弱前に 200m に出場していたため、さすがに疲労の色を隠しきれない。しかし、アウトレーンの桑原の走りからペースを作り、そのまま一着でゴール。桑原もそれに続いた。

前川も 800m の疲労はあったが、レースの本数をこなすのには慣れており、後半の東大の伊勢田の追い上げをかわし、三着でゴール。

見事スコルクを達成し、完勝後のパフォーマンスにスタンドも大いに盛り上がった。(中尾)

女子3000m

- 1位 山下 里絵 (4) 10.56.98 (NGR)
3位 中村奈都子 (4) 11.19.90

今期絶好調の山下と、ここ数週間で調子を上げてきた中村に、好記録の期待がかかっていた女子 3000m。

スタートから山下は先頭でレースを引っ張る。中村もそれに続き、1000m を 3分 36 秒で通過した。ここで東大の向田が前に出るが山下はそれに遅れることなくレースを進める。

そして 2000m の通過。再び山下が先頭に立ち、向田との差は徐々に開いていく。最後の 1000m でペースが上がり、見事、大会新記録でこの種目を制した。

中村は集団が崩れてからも安定した走りをみせ、惜しくも及ばなかったものの、自己記録に迫るタイムをマークした。(中村ゆ)



大会記録・自己初の 10 分台で優勝した山下(先頭)
自己ベストまで 1 秒と好走した中村(3 番手)

三段跳

- 2位 福山 大典 (4) 14m17 (+0.6)
3位 横矢龍之介 (3) 13m78 (+1.1)
6位 北島 明文 (2) 12m53 (+0.5)

福山[12.90-14.02-14.17-14.14- x - x]

横矢[12.49- x -13.78- -12.68-13.51]

北島[x - x - x - x - x -12.53]

予想ではイーブンの男子三段跳。一回目は両校ファールや 12m 台など低調で東大、倉員の 13m63 が最高。

二回目は福山が順調に 14m 台を出したが、その他はまだ乗ってこない。

三回目、福山が 14m17、横矢が 13m78 を出し結局これが両人の記録となる。

北島は今季ここまで好調だったが、この日はファールが続き、最後慎重にならざるをえず板のかなり前から踏み切り、結局 12m53 に終わった。(田端)

やり投

- 1位 山本 貴之 (1) 53m46
2位 野々垣春戸陽(1) 49m39
3位 松田 俊 (3) 48m39

山本[48.07-48.15-47.52-49.32-53.46-49.36]

野々垣[49.39- x -45.20-47.69-47.61-49.10]

松田[46.32-47.41-48.89-46.40- -48.15]

野々垣は一投目に 49m を投げ、その後も 48m 前後を安定して投げていた。

松田は肘の故障をおしての出場だったが、三投目に気合いで 48m を投げた。

山本は 50m 近くを投げていたが助走があわな
いらしく、五投目は助走を短くして 5.3m の大学
ベストをだした。

東大の一番手は四投目に 4.7m を投げたきり
で、あぶなげなくスコンクでき、これで投擲だけ
で東大に 30 点差をつけた。(木村か)

5000m

2 位 西村 好康 (4) 15.19.16

5 位 渡辺 敬宏 (4) 15.34.29

6 位 宇部 達 (3) 16.01.13

スタート直後、東大の松本と西村が飛び出るが、
西村は徐々に遅れる。一方、宇部と渡辺は集団の
中でレースを進める。

西村は 3000m 手前で集団に吸収されるが粘り
の走り、持ち前のスピードで 2 位に食い込んだ。

渡辺は 4000m を過ぎたあたりでいったん遅れ
かけるが、その後粘り、5 位でゴールした。

また、宇部は 3000m を過ぎたあたりで遅れ、
6 位となった。(田中ゆ)

女子 4 × 100mR

[滝上伸子-海野益代-森村あかね-河合春菜]

2 位 54.60

女子 4 × 100mR には滝上、海野、森村、河
合のオーダーで出場。

事前の予想通り 1 走からインレーンにかなり
差を詰められ苦しい立ち上がりになった。バトン
パスは比較的スムーズにこなすことができたが、
各走者の東大との走力の差が大きく、結果的には
大差での完敗となってしまった。

今後バトンパスをよりスムーズに、そして個人
がみな走力を上げることで東大との差を縮めて
いきたい。(石田)

4 × 400mR

[藤崎淳-堀江匠-水谷太郎-村地優樹]

1 位 3.18.93

最後の競技であるマイルリレー。スタートは一
走藤崎。当日 400m の自己ベストを更新した藤崎
は好調なペースで飛び出し、一走の段階で東大を
抜き去り、ここからは一度も東大に前を見せるこ
となく、差を広げ圧勝。

レース展開はこの日 200m の大学ベストを更新
した堀江が、スプリントの差で前半から東大を突
き放し東大の士気を裂いて、水谷にパス。

この日 4 本目の水谷も底力をみせ、村地も最後
の東大戦でアンカーに相応しい走りだった。(林)

オープンの部結果

200m		
涌井 健策	24.00	-0.7
山岸 公彦	24.68	-0.3
米谷 健司	24.95	-0.3
河野 良	25.59	-0.3
藤井 健輔	25.84	-0.3
800m		
寺田 悟	1.57.44	
粟村 聡資	2.10.93	
花谷 直人	2.11.85	
佐藤真一郎	2.17.82	
米谷 健司	2.41.97	
5000m		
佐藤 章徳	15.40.77	
宮木 貴志	15.43.34	
相澤 泰隆	15.46.31	
山崎 圭介	15.48.89	
大崎 友数	15.56.51	
田中 齊太郎	15.56.86	
加藤 圭祐	16.07.07	
福原 徹彦	16.23.77	
山城 丈	16.30.32	
走幅跳		
粟村 聡資	6m23 (+0.0)	
佐藤真一郎	5m91 (+0.6)	

第14回関西学生対校女子駅伝競走大会の結果(10/9 神戸しあわせの村運動公園)

順位	大学	タイム	第1区 3.9km	第2区 3.3km	第3区 6.5km	第4区 4.6km	第5区 5.1km	第6区 6.5km
1	立命館大	1.39.40	河岸南 12.59 12.59	澤田佳恵 23.33 10.34	池田恵美 45.16 21.43	樋口紀子 1.01.09 15.53	丸毛静香 1.17.44 16.35	古田亜耶 1.39.40 21.56
2	仏教大	1.40.56	木崎良子 12.37 12.37	谷村友美子 23.29 10.52	飯島希望 45.12 21.43	難波三永子 1.01.56 16.44	矢瀧茜子 1.18.56 17.00	越智順子 1.40.56 22.00
3	大体大	1.42.43	山下沙織 13.01 13.01	正木英理 43.27 11.14	堀岡智子 45.17 21.02	小林由香 1.02.04 16.47	前田亜希子 1.19.54 17.50	植田沙世 1.42.43 22.49
4	京産大	1.43.13	脇本芽生 13.15 13.15	上西裕子 24.12 18.08	重田円香 46.22 22.10	木村光希 1.03.30 17.08	天野美絵 1.20.55 17.25	伊藤舞 1.43.13 22.18
5	神院大	1.44.13	伊藤貴恵 13.06 13.06	森奈津子 24.07 11.01	北野泰子 46.40 22.33	中須啓子 1.03.20 16.40	吉本実智留 1.21.02 17.42	砂川朋 1.44.13 23.11
6	大院大	1.47.36	新開さゆり 13.51 13.51	守野真理子 25.16 11.25	岸本明子 48.32 23.16	片平辰子 1.05.53 17.21	大橋味世 1.24.32 18.39	笹井奈々恵 1.47.36 23.22
7	龍谷大	1.48.52	坂井優子 13.51 13.51	横田枝里 26.21 12.01	塚原亜紀 49.41 23.20	鈴木照美 1.07.13 17.32	古林英里 1.25.30 18.17	津田早希 1.48.52 23.22
8	人科大	1.49.50	岩本怜子 13.46 13.46	上田明日香 25.26 11.40	林亜希 49.26 24.00	梶谷亜希子 1.06.19 16.53	石田智子 1.24.57 18.38	上原早紀 1.49.50 24.53
9	大国大	1.51.35	森西知加 13.40 13.40	由比ヶ浜美穂 25.57 12.17	鈴木麻衣 49.47 23.50	宮田翼 1.07.49 18.02	片岡由佳 1.26.22 18.33	岡副真実 1.51.35 25.13
10	大教大	1.54.46	北野萌 14.42 14.42	井上奈津子 27.08 12.26	田中真由美 51.05 23.57	川崎吹希子 1.09.47 18.42	岡本愛 1.29.59 20.12	岸田喜江 1.54.46 24.47
11	武庫川女大	1.55.41	小野茉衣 14.39 14.39	宗和愛佳 27.11 12.32	渡辺好美 52.14 25.03	勝木美幸 1.10.36 18.22	前中千恵 1.29.37 19.01	津田智美 1.55.41 26.04
12	同大	1.56.02	中村奈美 14.09 14.09	池田知子 26.02 11.53	宮本由香 51.20 25.18	西村真理 1.10.23 19.03	平野文子 1.30.02 19.39	山本佳世 1.56.02 26.00
13	関外大	1.57.13	愛知恵梨 13.50 13.50	粕谷智美 27.18 14.29	松本奈津子 52.50 24.31	清水亜美 1.11.52 19.02	和木利衣 1.31.55 20.03	中野聖子 1.58.35 25.18
14	びすポ大	1.58.35	大田友香 15.12 15.12	平尾朋美 27.18 12.06	高見美帆 52.15 24.57	眞野日登美 1.11.18 19.03	高屋奈津美 1.31.42 20.24	安川知恵美 1.58.35 26.53
15	京教大	2.00.32	岡敬子 15.06 15.06	加藤絢香 28.33 12.52	松井亜子 52.28 23.55	高野瑞絵 1.12.17 19.49	畑由紀子 1.34.01 21.44	桂悠紀子 2.00.32 26.31
16	和歌山大	2.01.32	藤原くみ子 15.06 15.06	岸妙子 27.12 12.06	藤内愛都紗 51.30 24.18	大畑祐子 1.12.22 20.52	川口奈津美 1.32.54 20.32	唐澤歩美 2.01.32 28.38
17	京都大	2.03.38	岩瀬祥子 15.41 15.41	横田祐子 31.28 15.47	山下里絵 58.08 26.40	川口紗弥香 1.16.30 18.22	中村有里 1.36.46 20.16	中村奈都子 2.03.38 26.52
18	兵庫大	2.03.43	岡田愛子 14.39 14.39	熊原早弥 28.06 18.26	北浦まみ 53.03 24.57	宝来葵 1.15.27 22.24	松浦美穂 1.38.12 22.45	平田歩 2.03.43 25.31
19	大外大	2.04.35	奥平愛子 16.08 16.08	松沢緑 30.09 14.01	増田有貴 54.47 24.38	武藤由紀 1.15.36 20.49	伊藤恵利子 1.37.37 22.01	田村彩香 2.04.35 26.58

駅伝詳細

1区 3.9km 岩瀬 祥子 (4) 15分41秒 (区間18位・通過18位)

駅伝の流れをつくる一区を任されたのは岩瀬。台風はそれ、予想された大雨もなく、好コンディションの中レースは始まった。スタート直後は、ハイペースの先頭集団からやや遅れた位置、抑え気味で走る。周回道路出ですぐの1000m地点通過タイムは3分42秒と予定通り。下りに入り、前方から落ちてきた京教大・大外大を捕らえて上りに向かう。坂の中腹あたり、競り合いの続いていた京教大を追うかたちとなるが、応援もあり、離されては食らい付く、の展開が続く。最後のグラウンドに入る直前にタスキを取り、ラストスパート。トラック内で京教大との差が縮まるが追い付けず、1秒差の15分41秒、18位でのタスキリレー。区間予想タイムを14秒上回った。(光安)

2区 3.3km 横田 裕子 (1) 15分47秒 (区間19位・通過19位)

最近、故障続きであまり練習が積めていなかった横田。1区の岩瀬から18位という位置でタスキを受けスタート。600m地点で大阪外国語大に抜かれ、その後は一人旅となった。心配された足の痛みも特に気にならなかったという横田。さすがに後半ペースが落ち込んだものの、ほぼ設定タイム通りで3区のエース山下へタスキをつないだ。だが、本人にしてみれば今回のレースは本調子でなく不本意なものであったようだ。今後の成長に期待したい。(山本す)

3区 6.5km 山下 里絵 (4) 26分40秒 (区間19位・通過19位)

3区を走るのはエース山下。エース区間であるこの区には他校も大学トップクラスの選手を投入した。最下位でたすきをもらって一周目から孤立したレースになったが、周りの応援を受けて設定どおりのペース。2周目に入ってややきつくなってきたが、中継所まで走りきった。タイムを刻みにくい状況の中で「全力を出し切って満足した走りができた」というように粘りをみせ、勝負の後半につなげた。強い選手と走ったことがいい経験になったようだ。(加藤)

4区 4.6km 川口紗弥香 (1) 18分22秒 (区間10位・通過19位)

タスキを受け取った川口は目の前を走り、一周先に行く京産大の選手を抜き去ってしまう。川口の周りには、同じ位の順位の選手はいなかったが、上位に行く京産大の選手と競り合うことで、かなりいい走りを見せてくれた。後半は相当きつかったと言うが、最後の最後まで切れることなく、粘り強く走りきった。結果は区間10位。設定タイムも切ることができた。彼女はまだ一回生で、これからの成長が楽しみな存在である。(吉川)

5区 5.1km 中村 有里 (1) 20分16秒 (区間14位・通過17位)

川口からたすきをもらった5区の中村は、前区で差を詰めた大外大、兵庫大が見える位置で走り始めた。得意の「刻む走り」で、運動公園を出たあたりで大外大を、その後すぐに兵庫大を抜く。ゴール前ののぼりでペースが落ちるものの応援も励みに差をあける。結局6区にはたすきがつながらなかったが、総合結果に大きく貢献する走りを見せた。(田中ゆ)

6区 6.5km 中村奈都子 (4) 26分52秒 (区間16位・通過17位)

第6区(6.5km)を走ったのは中村奈都子。トップの立命が速く、繰り上げスタートは京大を含め7チーム。この集団から兵庫大が抜け出し、それに続いて中村は京教大、大外大、奈良連に付いた。大外大が落ち、中村は京教大に付いたが2周目の下りで離された。トラック手前で大外大に迫られ10m程まで詰められたが中村がスパートをかけて逃げ切った。区間順位は16位、京大は17位でゴール。(山川)

新主将挨拶

新たに主将を務めさせていただく、松井延行です。

このたびは七大戦に引き続き、東大戦も大差で勝利を収めることができました。これはOBの皆様の多大なる応援、また磯島前主将以下部員一同が一丸となって練習・競技に務めた結果であると思います。

来年もチーム力・結束を大切に、関西インカレ一部での躍進・七大戦連覇・東大戦4連覇に繋げていこうと思います。

来年もOBの皆様方と共に勝利の喜びを分かち合えるよう部員一同全力を尽くしますので、これまでと変わらぬご支援・ご声援の程をよろしくお願いいたします。

京都大学体育会陸上競技部主将 松井 延行

新幹部紹介

主将	松井 延行
副将	杉本 昌大
女子主将	海野 益代
主務(学連担当)	前田 昌也
主務(渉外担当)	宇部 達
主務(体育会担当)	水井 研吾
短距離パートチーフ	堀江 匠
中距離パートチーフ	三好 達也
長距離パートチーフ	宮木 貴志
跳躍パートチーフ	杉本 昌大
投擲パートチーフ	松田 俊



蒼穹ニュース 平成16年度 第6号

平成16年10月13日 発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部

編集者：高橋孝治・中尾太郎・山本直・吉崎敬祐（副務）

特別協力：森一・田中齊太郎（学連員）・滝上伸子（体育会員）

山田修裕（記録係）・山下輝芳（HP係）

写真担当：石田真大・松久佳弘・森川陽介

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html>

蒼穹ニュース HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/soukyu.htm>

陸上競技部記録 HP <http://homepage2.nifty.com/bridge-as/>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス discus-k@amber.plala.or.jp（吉崎）